



コミュニティ・スクール
長井市立致芳小学校だより
令和5年3月15日 NO.20
校是「和致芳」

みんなが仲良く高め合って、たくましく輝く致芳校をつくろう
『一人一人が自己の成長を実感し、笑顔になる学校へ』

伝統を引き継ぎ、感謝し、そして巣立ちの日へ

「少年少女五十川獅子踊り」の引き継ぎ式が行われました。6年生から5年生・4年生へと伝統を引き継ぎます。4・5年生も今まで休み時間も自主的に練習してきた「笛」「かげ歌」「太鼓」「踊り」「ほめ言葉・返し言葉」「持ち手」の言葉と動きをしっかりと発表することができました。



6年生と一緒にいった獅子踊りにはまだまだ及びません。でも、かげ歌の音がしっかり出ていました。ほめ言葉・返し言葉の音が響いていました。太鼓の音が揃っていました。笛は低い音まで出るようになってきました。獅子やささらの動きもよくなりました。この短い期間でよくぞ覚えたものです。「型」は覚えてきました。

お師匠様方から教えていただいたことは、場面の様子を理解して、花や獅子（けもの）に「なりきって」演じることです。気持ちをたっぷり込めるには「間」が必要です。太鼓・かげ歌・笛をもっとゆっくりゆったり感情をこめることです。6年生の心配そうに見つめる目には「任せたぞ。がんばって!」という気持ちも表れていました。

児童会委員会の引継ぎ式も行われました。毎日の活動をこつこつと責任もって努めてきました。小さな積み重ねが先日の環境委員会のアルミ缶回収を車椅子につなぎ、福祉施設へお送りする活動へと結びつきました。6年生の一番の強みはこの日々の活動をしっかりと実践できることです。その時だけの活動ではないことに、目立たないことにも全力で取り組むことは本当の実力です。しっかりとその意思を引き継いで、より良い致芳小をつくりあげていくことを約束します。



6年生を送る会では、縦割り清掃班ごとに、感謝の色紙を送って、お祝いの言葉を伝えました。チーム対抗のゲームも行って卒業までの残り少ない日々を惜しみながら楽しむことができました。卒業に向けてのこの時期、今までの感謝を伝え合うときの表情がとても柔らかいです。6年生はとてもやさしい表情になります。感謝の気持ちとあたたかな笑顔で卒業式を迎えましょう。



あの日から12年、まだ終わってはいない。 ～東日本大震災を伝えていく 朝会講話～

福島県双葉町を訪ねてきました。帰還困難区域から解除され、ようやく住むことができるという



ニュースを聞き、東日本大震災・原子力災害伝承館ができたことを知ったからでした。浪江 IC を降り、双葉町に入るにつれ空き家が多く人影はなくなってきました。7千人余りの住民と町役場ごと県外に避難したこの町はまだ元には戻っていないことを実感しました。12年経って、ふるさとに戻って住んでいる人はまだ60人。多くの町民はまだ避難先だそ



うです。福島第一原子力発電所の事故の影響はあまりにも大きいです。今も廃炉作業は続いています。伝承館のプロローグ映像の中で福島出身の西田敏行さんは「生きている間に終わるのだろうか」と語っ



ていました。今の小学生は体験していないことですが、難しい話でも伝えていかななくてはならないと思い、朝会で話をしました。まだ終わってはいません。この災害で苦しんでいる人がいる限り、正しく知り、しっかり考えていかなければならないと思います。

3月・4月の主な行事予定

【3月】

- 14日(火)～17日(金) 卒業式練習
- 17日(金) 修了式
- 18日(土) 令和4年度卒業証書授与式
- 19日(日)～4月6日(木)まで
年度末年度始休業



【4月】

- 6日(木) 新6年生登校日(式場準備)
- 7日(金) 入学式、始業式、新任披露式
- 10日(月) 2～6年生 給食開始、通学班会
- 12日(水) 1年生給食開始
- 13日(木) 一斉下校指導
- 18日(火) 全国学力・学習状況調査(6年生)
- 20日(木) PTA 学年部会、専門部会、専門委員会
- 21日(金) 身体測定
- 25日(火) 交通教室
- 28日(金) 参観日、PTA 総会



致芳小学校のホームページ・ブログでも子ども達の様子をお知らせしています。カラーでご覧いただけます。こちらのQRコードからどうぞ。

白兔の高橋さんからいただいた啓翁桜が咲き始めました。

